

平成30年度事業報告

社会福祉法人 尼崎武庫川園

1 平成30年度事業総括

平成30年度の法人運営について、報酬改定の影響を受けることが見込まれる就労系事業所及び武庫アルテンハイムの入退所状況や収入の予算達成率等に留意した。本部拠点へ資金を繰り入れることで、運営資金の流動性を担保しているが、武庫アルテンハイムへの資金援助は必要最小限にとどめ、繰入金については慎重に行った。また、第2松の園、第1松の園ともに一定の収入減少となったことは、通所事業の報酬単価の変動とご利用者の登園率の問題がある。そこで更なるご利用者の獲得にとどまらず、通所事業再編や送迎に係る経費に対して利用者負担を求めること等について検討に入る必要性を議論してきた。

重点事項として挙げた人材の確保に向けた取り組みについては、広報活動予算を計上し、求人サイト（マイナビ）への参画及び就職フェアへの出展等を積極的に行った。また、見学会や説明会の内容を充実するよう施設長会での役割分担化や先輩職員のかかわりを入れるなどの工夫を行い、平成31年4月に2名の新卒採用を行った。また、人材育成についても、階層を意識した法人研修の実施や自閉症スペクトラム等の支援について専門性を高める外部研修への計画的な派遣を行い、サービスの質の向上や権利擁護意識の向上を図った。

国が推進する「地域における公益的な取り組み」については、前年に引き続き地域のイベント（西宮市民祭り、尼崎ミーツ・ザ・福祉）へ参加及び西宮市社会福祉協議会段上地区会議への参加等による地域ネットワーク作りに取り組んだ。また、同一地区である市営田近野住宅にて「介護保険制度について」と題し、出前ミニ講座を開催し、約30名の参加をいただいた。社会教育活動の一環として自閉症事例検討会の実施、低所得利用者への社会福祉法人減免の実施等も行った。

次に、委員会活動による各事業所の横断的な課題への対応については、計画策定委員会で前年に続き議論を積極的に行い、法人の喫緊の課題について中期計画を策定した。広報委員会では明るく見やすく温かみのあるホームページとなるよう全面リニューアルを行った。各事業所の情報や空床情報を見やすくすることで、ご利用者の新規獲得や求人サイトの充実による人材確保を目指している。また、50周年記念誌の編集についても事業所間の連絡調整や写真の収集等を担った。衛生委員会では、各事業所の労働環境に関する課題や感染症の発生状況の共有などを行い、産業医の助言をいただきながら労働衛生環境の整備に努めた。また、役職者を中心としたメンタルヘルス研修も行った。事故対応委員会では各事業所で発生している事故について情報や再発防止策などを共有することに努めた。特に入所施設で事例が多い、服用薬に関する事故を防止するため、「誤薬防止キャンペーン」を実施し、ポスターの掲示や朝礼時の意識づけ、缶バッジの着用による啓発

活動を行った。年度後半には、採用担当委員会を立ち上げ、2020年4月採用に向けて人材確保施策を強化している。

2 職員配置

常務理事 施設長兼務	施設長	事務員 施設事務兼務		
1	5	3		

31年3月31日現在

3 法人主催研修

実施日	研修名	人数及び対象階層	地域
5月2日	新任職員研修	13名 採用2年未満対象	
6月20日	役職者研修	13名 主任・副主任対象	
7月7日	地域移行フォーラム	43名 職員・利用者・家族	21
7月26日	ハラスメント研修	15名 施設長及び役職者	
8月4日	人権研修	16名 中堅職員層	
8月8日	ハラスメント研修	15名 施設長及び役職者	
8月9日	サビ管研修	9名 サビ管配置及び有資格者	
10月12日	感染症防止	8名 看護師及び保健担当	
10月26日	マネジメント研修	13名 主任・副主任	
11月30日	接遇研修	18名 全階層、全職種共通	
12月15日	チームマネジメント	10名 中堅リーダー層	
1月19日	メンタルヘルス研修	14名 施設長・役職	
2月23日	自閉症事例発表会	25名 全職員及び外部職員	2

4 年間行事

月	行 事 内 容
4 月	2 日 辞令交付式 委員会（衛生、リスク、広報）
5 月	23 日 監事監査 委員会（計画策定、衛生、リスク、広報）
6 月	7 日 理事会（事業報告・監事監査報告、決算報告） 21 日 評議員会（事業報告・監事監査報告、決算報告） 委員会（計画策定、衛生、リスク、広報）
7 月	26 日 県社協就職フェア出展 委員会（計画策定、衛生、リスク、広報）
8 月	委員会（計画策定、衛生、リスク、広報）
9 月	21 日 社会福祉法人指導監査 委員会（計画策定、衛生、リスク、広報）
10 月	13 日 尼崎武庫川園祭りの開催 27 日 西宮市民祭り出店 委員会（衛生、リスク、広報）
11 月	15 日 第 2 回理事会（社会福祉法人指導監査結果） 24 日 県社協就職フェア出展 委員会（計画策定、衛生、リスク、広報）
12 月	1 日 正規職員登用試験実施 13 日 理事・評議員意見交換会 委員会（計画策定、衛生、リスク、広報）
1 月	委員会（衛生、リスク、広報、採用）
2 月	委員会（計画策定、衛生、リスク、広報、採用）
3 月	12 日 第 3 回理事会（第 1 次補正予算・平成 3 1 年度事業計画・平成 3 1 年度当初予算・中期計画） 14 日 県社協就職フェア出展 26 日 第 2 回評議員会（第 1 次補正予算・平成 3 1 年度事業計画・平成 3 1 年度当初予算） 委員会（衛生、リスク、広報、採用）

松の園

1 平成 30 年度事業総括

30 年度は、男性 22 人、女性 23 人、計 45 人満床でのスタートであった。しかし、4 月下旬より女性利用者の入院が長期にわたり、寝たきりの状態が改善されなかった。そのため武庫アルテンハイムへの入所となり、年間を通じて女性は実質 22 名の利用であった。事業収入は 320 万円減となった。短期入所の延べ日数は 126 日で前年の 112%、日中一時は 55 時間で、前年の 78%のご利用があった。

松の園のご利用者は 30 代前半から 70 代前半と年齢の幅が大きい。それぞれのライフステージに応じて豊かに暮らしていただけることを目指している。外出行事も豊富に実施しているが、それ以上に外出を望まれるご利用者には、ご家族とも相談して、ヘルパーを利用して実現していただいている。高齢の方には移動時の見守りを徹底し、食事時、入浴時、休日の職員配置を増員して誤嚥や骨折リスクに備えたことで、手厚い支援がおこなえた。また、今ある能力を現存するよう、個別の機能訓練やリハビリにも十分な時間をかけている。加えて、生活の中で身体を動かすことを常に意識してきた。しかし、内科的疾患のあるご利用者の入院は、年々長期化している。早期発見し、早期治療が出来るよう、日々の暮らしの中での小さな変化を見逃さないようにした。

職員には障害の特性を理解し、不適切な支援につなげない知識とスキルを身につけさせた。「意思決定支援」を意識しながら支援計画を立て、いきいきと暮らせるよう、常にご利用者主体の日課をプログラムしている。事業計画で予定していたスヌーズレンのアクティビティー部門にも着手した。同じく手芸教室も開講し、男性ご利用者も参加され作品作りを楽しまれている。音楽セラピーやフラダンス、ヨガ、は引き続きボランティアの方々の力を借りて、充実した余暇を定着させた。

日中活動の基本となっている生産活動の収益は 152 万円で、前年を 10 万円上回った。日中活動のメニューが豊富になり、作業以外の活動を選択できるにもかかわらず、工賃として平均 3 万 5 千円（年間）を支払った。今後もご利用者には、体力や特性に応じた配慮をしたうえで、「労働の対価を得る」という喜びを生涯現役として実感していただきたいと思っている。

30 年度は水のトラブルが頻発した。2F トイレから階下への漏水シャワーカランの緩みによる漏水、3F ベランダから食堂への雨漏り、温水が循環する埋設管の亀裂等、その都度、緊急の修繕工事をおこなったため、修繕費が膨れ介護浴槽設置は断念することとなった。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師	管理栄養士
1	1	1	1	1
理学療法士	支援員 常勤（嘱託）	支援員 非常勤	嘱託医 内科、精神科、歯 科、耳鼻咽喉科	ボランティア グループ 1 個人 4
1	13（2）	6	4	

2019年3月31日現在

3 内部・外部研修

	研修日	研修内容	参加
外	5月23日	障害福祉施設新任研修（支援員）	1
外	6月1日	食中毒予防講習会（管理栄養士）	1
外	6月12日	スヌーズレンセミナー（PT・支援員）	2
外	6月16日	自閉症eサービス初任者のための実技講習（支援員）	1
外	6月21日	口腔ケア（支援員）	2
外	7月24日 25日	てんかん基礎講座（支援員）	1
外	8月8日 22日	高齢化対策（支援員）	1
外	9月6日 27日	自閉症eサービス基礎講座（支援員）	1
外	9月20日	記録の充実（支援員）	1
外	9月25日	介護職の薬の知識（看護師・支援員）	2
外	10月6日	自閉症の方の豊かな生活（支援員）	1
外	10月11日	自閉症eサービス基礎講座（支援員）	1
外	11月8日	自閉症eサービス基礎講座（支援員）	1
外	12月8日 9日	アセスメントセミナー（支援員）	1
外	1月11日	ダウン症の青年期（管理職・役職）	2
外	3月9日	強度行動障害（支援員）	1
外	3月14日	コミュニケーション技術（支援員）	1

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	4	花見（西武庫公園）	45
4月	25	春季健康診断	45
5月	15～31	グループ別外出（5班）	44
5月	14・21	食事会（ビッグボーイ）	44
6月	13	塩田温泉旅行	44
6月	27	ボーリング大会	32
7月	7	七夕会	44
7月	10・12	ラーメン記念館 甲子園歴史館	20 23
8月	6～28	夜間外出 万博エキスポ・神戸クルージング つかしん温泉	44
8月	30	夏祭り	44
9月	22	松の園フェスティバル	44
9月	26	食事会（すたみな太郎）	45
10月	13	武庫川園祭り	44
10月	29～30	小豆島一泊旅行	42
11月	6	ボーリング大会	38
11月	10	ミーツ・ザ・福祉	42
12月	6	食事会（ビッグボーイ・マクドナルド）	44
12月	25	クリスマス会（ホテルヒューイット） グループ別買い物	44
1月	9～11	広田神社初詣	36
1月	19	新年会 餅つき大会	40
2月	1	節分 豆まき	44
2月	14	食事会（すたみな太郎）	44
2月	27	伊丹市昆虫館	36

3月	7	ボーリング大会	40
3月	11～26	グループ別外出	44

毎月の行事

- ・誕生会・理美容・血圧体重測定・音楽セラピー・手芸教室
- ・フラダンス教室・ヨガ体操・料理教室（ランチ・おやつ）
- ・内科検診・精神科往診・オーラルケア（毎週）
- ・耳鼻科検診（年2回）

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	125.928
5月	135.067
6月	109.080
7月	64.152
8月	134.419
9月	110.295
10月	150.297
11月	139.385
12月	118.574
1月	155.130
2月	148.824
3月	129.258
合計	1.520.409

カトレアの園

1 平成30年度事業総括

30年度は入所者44名通所者12名でスタートした。通所1名が近隣の事業所に移られた。養護学校の見学受け入れを積極的に行うが、新たな入所者獲得にはつながらなかった。

介助度が増す中、作業中心に行ってきたこれまでの活動やスケジュールでは職員配置、ご利用者への支援の内容について課題が多くあり、改善が必要になってきている。今年度は作業班を廃止し、日中活動検討委員会を中心に日中の活動内容を検討しながら進めた。ご利用者の状況は多様で、内容については今後も工夫と検討が必要になっている。現在は午前30分、午後1時間半のレクリエーション活動を行っている。午後は個別支援として外出支援も実施した。外部の講師を招いて月に2回音楽ショー・月に1回音楽セラピー・年に2回メイクセラピーを行っている。

理学療法士によるリハビリは個別の施術のみだったが、集団リハビリやウォーキング、ユニバーサルスポーツのボッチャなどを取り入れた。

ボッチャは地域の大会にも参加し、少しずつご利用者の参加も増え、身体的な機能の向上と合わせて、「楽しい」「もっとうまくなりたい」など、生活意欲につながっている。

権利擁護の取り組みについては委員会を中心に不適切支援に気付くためのグループワークや掲示による呼称の統一を行った。不適切支援が起こった時には事故報告で共有化したが、3月虐待事案に発展する事柄があった。これまでの取り組みを一人一人が振り返る機会をつくり、内部研修や日常的な取り組みを強化していきたい

医療面では毎年嚥下機能の回復が課題になるケースがある。ご利用者のフィジカルアセスメント力、気づきの視点をどう高めるか、またその時ご利用者の思い・意思決定をどう支援するのかを考えていく必要がある。3月にはその視点で内部研修を行った。

昨年度介護ソフトを導入し、業務の効率化を図ったが、夜勤時や入浴・日常的な介護での負担感があり、職員の腰痛者が増えている。環境整備と、介助場面の見直しを行っていきたい。

2 職員配置

施設長	事務員	サービス管理責任者	看護師	栄養士
1	1	1	2	1
理学療法士	支援員 常勤（内嘱託）	支援員 非常勤	清掃・運転 非常勤	
2	27（8）	4	5	

2019年3月31日現在

3 外部・内部研修

外部研修

実施日	研修名	参加人数
4月19日	バリアフリー展	1名（PT）
6月27日	食中毒予防講習会	1名（栄養士）
7月27・28日	リフトリーダー養成研修	2名（支援員）
8月9・10日	サービス管理責任者研修	2名（副主任）
9月7日	サービス管理責任者研修	2名（副主任）
9月10日	介護リーダー養成研修	1名（支援員）
9月12日	セーフティケアを考える会（事例発表）	1名（施設長）
10月19日	トランスファー実技研修	2名（支援員）
10月25日	アセスメントスキル向上研修	1名（支援員）
10月29日	摂食及び嚥下に関する基礎研修	1名（支援員）
11月15・16日	サービス管理責任者研修	1名（副主任）
12月3日	食中毒予防と衛生管理、災害時の対応	1名（栄養士）
12月6・7日	サービス管理責任者研修	1名（副主任）
12月20日	加算・人員配置実地指導について	1名（事務員）
1月6日	摂食・嚥下他職種それぞれの目線で考える食支援	1名（PT）
2月10日	阪神南圏域他職種連携フォーラム	1名（主任）
2月15日	介護リスクマネジメントセミナー	1名（主任）
3月9日	かちん・むかつ・ぐさつの心理学	1名（支援員）

内部研修

実施日	研修名	参加人数
4月13日 5月11日 7月27日 8月24日 10月19日	手話勉強会	4～6名
5月24日	一羊会地域移行研修	1名
8月3日	エアマットレス勉強会	6名
8月31日	ポジショニング研修	4名
9月12日		6名
1月25日	24時間ケア研修	4名
3月8日	ポジショニング研修	8名
3月15日	尼崎医療生協病院医師「終末期・生き方をどう支えるか・フィジカルアセスメント」研修	16名

4 年間行事

月	日	行 事 内 容	参加人数
4月	20日	春の行事	52名
	26日	春季健康診断	55名
5月	24日	ハーブ演奏会	15名
6月	9日	高校生ダンス	38名
	29日	ママゴスペルコンサート	49名
	30日	レスパイト村上さんコンサート	25名
7月	13日	スポーツ大会	52名
8月	13日	プリンアラモードづくり	30名
9月	7日	メイクセラピー	7名
9月 10月 11月	7日 21日 26日 9日	日帰り旅行	45名
10月	13日	武庫川園祭り	48名
11月	17日	村上さんコンサート	20名
12月	21日	クリスマス&忘年会	53名
	30日	おでんバイキング	27名
1月	1日	カラオケ大会	20名
2月	8日	西宮市福祉作品展	6名
	11日	チョコレートパフェづくり	39名
3月	12日	メイクボランティア	11名
	21日	プリンアラモードづくり	39名
	29日	ひまわり会総会	32名

武庫アルテンハイム

1 平成 30 年度事業総括

平成 30 年度は、年度当初に年間予算に対して月々の目標収益を現場に示し、目標を上回るよう現場職員と確認をして 1 年間事業を進めた。結果、赤字ではあったが、法人からの繰入金等も前年より抑えることはできた。

※平成 30 年度の特養稼働率 88%（最大 56 名）（前年度 83.9%：最大 53 名）、短期入所稼働率 56%（前年度 27.1%）

反面、残念ながら職員による不適切な介護の結果、西宮市へ養介護施設従事者による虐待の疑いとして報告事案が 1 件発生した。市の指導を受け、全職員に向けた高齢者虐待防止研修（権利擁護研修）を行った。また、金品授受も 1 件発生し、当該職員および施設長が処分を受けた。

短期入所では、隣市の虐待案件を受けることとなり、その養護者対応で業務支障が出た。第三者委員の協力を得て、当該市介護保険課・他事業所との連携、当法人顧問弁護士からの助言等で昨年末をもって無事に対応は終了した。

施設として、5 年振りに社会福祉士養成校の実習生を受け入れ、専門職の後進育成に関わる機会をもてた。利用者の日常生活を少しでも豊かにするため、今年度はグループ活動も各グループが、ミニプログラムを企画した。お誕生日を祝うことで、今、生きていることを実感して欲しい、ご利用者と向き合うために職員自身が学びたい(研修企画)等、小さな試みを持ち込んだ。また、新たに排泄委員会を立ち上げ、外部業者からの研修、朝食後の排泄介助を意識して取り組み、結果として、今までオムツ内での排便が多かった利用者の方がトイレでの排便が見られたり、緩下剤の服用を減らして排便が見られるようになったりと一定の効果を上げた。

昨年度事業報告にもあげていた洗濯場の業務用乾燥機 2 台は、経年劣化にて買い替えることとなった。持ち越されていた雨漏りをしていた居室および 1 階廊下に対し、壁面コーキング工事を行った。また、入浴用電動ストレッチャーが経年劣化と製品廃番のため、ハローワークの助成金を活用してストレッチャーおよび浴槽を導入した。3 年前から、秋以降のインフルエンザ対策として超音波式加湿器を導入しているが、早めの導入と職員の手洗い・うがい、次亜鉛酸水による消毒の効果で今年度の感染者はご利用者 1 名（職員 3 名）であった。

2 職員配置

施設長	事務員 非常勤	介護支援 専門員	看護師	栄養士
1	2	1	3	1
理学療法士 非常勤	介護職員 常勤（嘱託）	介護職員 非常勤(生活支援)	清掃業務 非常勤	生活相談員
1	12 (5)	11 (3)	1	1

2019 年 3 月 31 日現在

3 内部・外部研修

実施日	研修名	主催	参加者
4月22日 他3日	介護福祉士実習指導者講習会	兵庫県介護福祉士会	1名(副主任)
5月19日 他4日	介護職員初級研修	兵庫県介護福祉士会	1名 (介護職員)
5月25日	阪神ブロック老人福祉施設給食担当職員部会	阪神ブロック老人福祉施設給食担当職員部会	1名(栄養士)
6月5日	摂食・嚥下障害	関西看護ケア研究会	1名(看護師)
6月9日	特別養護老人ホームの介護職・看護職の役割と問題点について	特別養護老人ホーム春日園	1名(看護師)
6月11日	西宮市ケアマネジャー協会総会と研修会	西宮市ケアマネジャー協会	1名(ケアマネ)
6月14日	高齢者福祉施設における身体拘束・虐待防止研修	近畿老人福祉施設協議会	2名 (介護職員)
6月16日	兵庫県介護支援専門員協会総会・記念講演	兵庫県介護支援専門員協会	1名(ケアマネ)
7月2日	介護報酬改定の概要	兵庫県栄養士会	1名(栄養士)
7月18日	観察の視点を活かした介護記録の書き方	介護労働安定センター	1名 (介護職員)
9月11日	甲東ふくしEXPO2018	西宮市社会福祉協議会	1名(副主任)
9月14日	信頼できる組織風土の確立を目指して	日本ケアカウンセリング協会／大阪弁護士会	1名(施設長)
9月18日	相談員のネットワーク作りについて	阪神ブロック相談員部会	2名(主任、副主任)
9月19日 他1日	高齢者虐待対応力向上研修	兵庫県社会福祉士会	1名(主任)
9月20日	ケアマネジャー研修会	西宮市ケアマネジャー協会	1名(ケアマネ)
9月25日	会計事務担当者研修	兵庫県社会福祉協議会	1名(事務職)
9月26日	ケアプラン基礎研修会	兵庫県老人福祉事業協会	2名 (介護職員)
9月27日	チームアプローチ実践研修	兵庫県社会福祉協議会	2名(主任、副主任)
10月13日	介護報酬と加算について	阪神ブロック看護部会	1名(看護師)

11月11日	兵庫県介護支援専門員協会臨時総会・伝達研修	兵庫県介護支援専門員協会	1名(ケアマネ)
12月14日	社会福祉法人財務管理研修	兵庫県社会福祉法人	1名(事務職)
1月24日	健康の秘訣は健やかな腸から ／新役員選出	阪神ブロック老人福祉施設給食担当職員部会	1名(栄養士)
2月3日	すべての介護関係者に求められる生きるを支える看取り介護	日総研グループ	2名(主任、看護師)
2月22日	西宮市認定調査従事者更新の実施について	西宮市役所	1名(ケアマネ)
3月10日	多職種協働勉強会	阪神ブロック看護部会	2名(看護師、介護職員)
3月31日	介護報酬改定説明会	兵庫県介護支援専門員協会	1名(ケアマネ)

4 年間行事

月	行 事
4	花見昼食会 (50名) ミニ外出 (桜花見、車窓観桜会) (12名)
5	端午の節句会 (マグロの解体ショー) (48名)、菖蒲湯入浴 こばと聴覚特別支援学校運動会参加 (3名)、コンビニ外出 (4名)、食事外出 (6名)、ミニお誕生日会 (2名)
6	こばと聴覚特別支援学校なかよし運動会 (3名) ミニ遠足 (海遊館)
7	七夕会 (アンサンブルレインボー大正琴) (49名) 食事外出 (6名)、出前昼食会 (3名)、ミニお誕生日会 (1名)
8	夏まつり (52名) コンビニ外出 (4名)、食事外出 (イオン伊丹昆陽) (4名)
9	敬老会 (51名) こばと聴覚特別支援学校敬老訪問 (45名) ミニお誕生日会 (1名)
10	武庫川園祭り (52名)、食事・外出 (イオン伊丹昆陽) (計4名) こばと聴覚特別支援学校秋の集い (3名)
11	ミニ外出 (コスモス見学) ×3回※2回喫茶あり (17名)

12	クリスマス会(43名)、ゆず湯入浴、大晦日紅白歌合戦鑑賞(18名)
1	新年会(49名)、ミニお誕生日会(2名)
2	節分会(51名)、手作りおやつクッキング(47名)、ミニお誕生日会(3名)
3	ミニ誕生日会(3名)

第2松の園

1 平成30年度事業総括

30年度、第2松の園では芦屋特別支援学校から1名の新卒業生と利用契約し、43名でスタートした。1日の平均利用者数は34.9人、定員35名に対して99.7%の利用率であった。前年度に比べ1.7%増加したものの、出勤率の高かった女性ご利用者が、1月に母親の入院や、2月に女性ご利用者1名が家庭の事情で退所されたことが影響し、伸び率が振るわなかった。

生産活動に関しては、今年度も営業の窓口として目標工賃達成指導員を配置し、ジョブステーション西宮から単独では受注できない多くの仕事を請け負うことができた。また、西宮市上下水道局より、引き続き水道メーター解体作業を請け負うことができた。その成果として、過去最高の約400万を売り上げただけでなく、作業種が豊富にあることで、障害の程度や種類に応じた作業を提供することが可能となり、ご利用者1人ひとりが様々な経験を積み、スキルアップに繋がった。

また、武庫アルテンハイムの清掃では、感染症の影響や、職員体制が整わない等の理由で清掃に入れれない日が多かった。だが、清掃メンバーのご利用者は、第2松の園の中だけでは得られない経験知や、清掃作業に対する強い責任感をもつことができた。

職員体制については、4月に正規職員1名が退職したこともあり、6月と9月に職業指導員として計2名のパート職員を雇用した。1名は利用者対応中心、もう1名は運転業務中心に当たり、体制の強化を行った。

30年度の障害福祉サービス報酬改定による影響で、ご利用者へ支払っている平均工賃額に応じた基本報酬を設定されたことや、送迎加算の減算、出勤率の伸び悩みにより、昨年度と比較すると240万の減収となった。

2 職員配置

2019年3月31日現在

施設長	事務員	サービス 管理責任者	生活支援員	目標工賃 達成指導員
1（兼務）	1	1（兼務）	1	1
職業指導員 常勤（内嘱託）	職業指導員 非常勤			
4（1）	4			

3 外部・内部研修

実施日	研修名	参加人数
5月17日	自閉症 e サービス中級講座 問題行動の理解と 冰山モデル	1 (支援員)
6月7日	自閉症 e サービス中級講座 事例検討1 支援プロセス	1 (支援員)
6月20日	役職研修 役職の役割・ワークショップ	2 (副主任)
6月21日	自閉症 e サービス中級講座 事例検討2 実際の支援	1 (副主任)
7月5日	自閉症 e サービス中級講座 事例検討3 生活を支える	1 (副主任)
7月7日	グループホーム移行に向けた構造化 被虐待者 の受入れ	1 (副主任)
7月18日	ハラスメント研修	2 (副主任)
7月27日	高齢者介護施設・障がい者施設での大規模災害 対策講座	1 (施設長)
8月8日	ハラスメント研修	1 (副主任)
9月6日	自閉症 e サービス基礎講座 自閉症の特性と 学習スタイル	1 (副主任)
9月14日	チーム・マネジメントリーダー研修	1 (副主任)
9月20日	チーム・マネジメントリーダー研修	1 (副主任)
9月27日	自閉症 e サービス基礎講座 評価から支援へ	1 (副主任)
10月11日	自閉症 e サービス基礎講座 構造化のアイデア	1 (副主任)
11月8日	自閉症 e サービス基礎講座 コミュニケーション	1 (副主任)
12月15日	チームマネジメント研修	1 (支援員)
1月19日	メンタルヘルス研修	2 (副主任)
1月24日	経営協セミナー 災害に備えて、いま、取り組む べきこと	1 (施設長)
3月1・2日	工賃向上プロジェクト 佛子園見学	2 (施設長・ 支援員)

4 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
4月	6	お花見&お食事会	34
	25	春季健康診断	41
5月	19	手作りおやつ	28
6月	8	日帰り旅行（徳島）	42
	19	手作りおやつ	34
7月	12	七夕会	37
8月	24	2松夏祭り	74
9月	15	手作りおやつ	31
10月	6	スポーツ大会	46
	13	武庫川園祭り	63
	26	バーベキュー大会	52
11月	2	日帰り旅行（出石）	44
12月	21	クリスマス会	40
	28	大掃除	40
1月	5	新年会/書初め大会	29
2月	1	節分会	36
3月	1	ひな祭り撮影会	38

5 月別生産活動収益

月	月別合計金額
4月	265,618
5月	279,733
6月	426,278
7月	300,772
8月	375,889
9月	324,906
10月	357,816

11 月	351,088
12 月	353,750
1 月	281,791
2 月	347,830
3 月	355,038
合 計	4,020,509

リーブ・フルーリー

1 平成30年度事業総括

平成30年度は6月末に男性ご利用者が1名在宅復帰されることになり退所された。7月に法人内通所のご利用者から1名が入所され、その後入所は満床で推移した。生活介護事業における年間の平均利用者数は48.4人であった。短期入所については、法人内通所利用者の緊急的なロングステイの状況や外部新規利用者の増加もあり、延べ利用者数は1,330人であった。過去5年間の延べ利用者数の推移は以下のようになっている。

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
人 数	872人	988人	934人	1,199人	1,330人

重点事項としていた権利擁護意識の向上について、虐待防止委員会を中心に啓発に力点を置いた。朝礼時に虐待事例や障害特性に配慮した支援のあり方等に関する読み合わせを行い、自分たちの日頃の支援について振り返る機会を持つように努めた。ご利用者の高齢化への対応については、日中活動では集団での活動から個別化を進め、適切な休息時間を取りながらライフステージに応じた過ごし方を提供できるように努めた。介護度が高くなっている女性利用者のリフト浴の定着を図り、職員の機器使用に関する学習も引き続き行った。また、業務支援ソフトを導入し、記録類の整備と業務改善を図るよう操作方法の研修機会を設けるなどして、効率化を進めていくようにした。経年劣化による公用車の更新について共同募金会の助成金を活用し、福祉車両への更新を行った。

利用者の生活面では、施設内行事や外出活動を活発に行った。特に外出活動では、小グループで出かけることで一人一人の満足度が高まっており、生き生きとした笑顔が多く見られた。ガイドヘルパーを利用する個別の外出への支援も増えつつあり、個々の楽しみや生きがいを広げていくことができた。

医務面では、各種健診による早期発見に努めた。加齢に伴う様々な疾患や障害特性による基礎疾患及び合併症などに留意し、適切な食事形態や運動の実施について検討を行う機会を持ち、健康の維持、増進に向けた努力を行った。また、嘱託医及び各医療機関との連携に努め、感染症の蔓延予防に関することや日常生活上の留意点等についても助言・指導をいただいた。

2 職員配置

施 設 長	事 務 員 本部事務兼務	サービスマ ン管理責任者	看 護 師	管理栄養士
1	1	1	2	1

理学療法士	支 援 員 常勤（嘱託）	支 援 員 非常勤		
1	21（4）	6		

2019年3月31日現在

3 内部・外部研修

<外部>

実施日	研修名	参加人数
6～2月	障害者虐待対応力向上研修	3名（事務・支援員）
7月27・28日	リフトリーダー養成研修	1名（副主任）
7月19・20日	相談面接技術研修	1名（支援員）
7月17日	OJTリーダー養成研修	2名（支援員）
9月14・20日	チーム・マネジメントリーダー研修	1名（主任）
9月27日	チームアプローチ実践研修	1名（副主任）
11月21日	障害者雇用促進セミナー	1名（事務員）
11月9日	ノロウイルス対策セミナー	1名（栄養士）
12月3日	栄養士・調理師研修	1名（栄養士）
12月19日	看護・介護職員研修	1名（看護師）
12月18日	人事労務管理研修	1名（施設長）
1月25日	西宮市事業系廃棄物再資源化研修	1名（事務員）
1～3月	発達障害実務者養成講座	1名（支援員）
2月18日	社会福祉法人研修	1名（施設長）
2月21日	理事・評議員研修	1名（施設長）
通年	自閉症eサービス集中研修	2名（支援員）

<内部>

実施日	研修名	参加人数
7月11日	感染症・ノロウイルス対策研修	5名
7月26日	自閉症支援研修	5名

8月17日	自閉症支援研修	6名
11月2日	感染症・インフルエンザ予防研修	6名
12月21日	権利擁護研修	6名

4 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
4月	3～5	花見	50
	16～27	春季健康診断	50
5月	18	運動会	50
6月	7.8.15	日帰り旅行（滋賀方面）	49
7月	27	夏祭り	49
通年	1～2回 ／月	選択外出	49
9月	12	B B Q大会	49
10月	13	武庫川園祭	50
	31	一泊旅行①（淡路・鳴門方面）	15
	27	西宮市民祭	4
11月	5～6	一泊旅行②（淡路・鳴門方面）	14
	14	日帰り旅行（関空方面）	19
12月	9	わがまちクリーン（地域清掃）	3
	21	クリスマス会	50
1月	16	新年会	50
2月	1	節分会	50
3月	7	ケーキデコレーション大会	50

第 1 松の園

1 平成 30 年度事業総括

< 概括 >

平成 30 年度は、人権を尊重した職員の丁寧な対応を目指した。特に発達障害・自閉症の特性の理解と支援スキルの向上を目指し、初めて自閉症コンサルティングを入れ、検討会を重ねた。また、不適切な支援についての不安や疑問を毎月のセルフチェックとケース会議などで話し合い意識して取り組めるようにした。その中で、「利用者が主体となった安心で笑顔あふれる日中活動」を行うことを目指して、自主生産の生産・販売の活動にも力を入れ、販売額は前年度の 2 倍となった。見学会や JOB ステーション呼びかけのコープや会社の昼休み販売にもご利用様と一緒にいき、全体として安定した作業収入を保ち、前年度比 1.2 倍の収入であった。作業収入の安定化により、工賃の 1 日当たりの基礎単価を 2 回に分けて計 40 円上げることができた。

7 月から 9 月は自然災害が多く発生し、災害時体制を整えるため緊急時マニュアルの見直しとメーリングリストを作成した。身体面の配慮の必要な利用者様も多くなってきていることから、安全対策について力を入れなければならない。怪我・病気によって数カ月休養されるご利用者も複数おられた。

登園率は、定員 46 人に対して 93% であった。

< 各事業 >

「就労継続 B 型」利用の方には、チャレンジできる作業を用意し、新しい作業にも取り組んでいただき、平均工賃は約 6000 円となった。

「生活介護」事業では、個別のニーズに合った「生産」「余暇」「健康」などの活動に取り組んでいただいた。パソコンでの文章が打てるようになることや、職員手作りの自立課題を楽しみながら取り組んでいただくことでスキルアップにつながった。のべ 6 人のボランティアの方に継続して来ていただき、活動に幅がでてきている。

< 安心について >

健康ニーズの高い利用者には、「健康相談」を行った。特にインシュリン自己注射の必要な方には見守るなど、日々の状態把握を行いご家族と連携をとった。

広報活動は、月 1 回の通信の発行に加えブログへの記事投稿・地域の祭りへの参加をおこなった。

緊急時には相談支援事業・地域支援事業・ショートステイ事業の法人内外の連携体制をもち対応を行った。その中で、在宅生活が長かった方の就労継続 B 事業の利用が進み 1 月末から継続して通所できている。

< 法人内再編に向けて >

通所事業の法人内再編については、2 回の交流を第 2 松の園と行った。

2 職員配置

施設長	事務員 本部事務兼務	サービス管理 責任者	看護師 パート	栄養士
1	1	1	(1)	0
理学療法士 非常勤	支援員 常勤	支援員 非常勤		
0	8	3		

2019年3月31日現在

3 外部・内部研修

実施日		研修名	参加人数
5月	17	自閉症中級講座①	1 支援員
6月	7	自閉症中級講座②	1 支援員
	13	権利擁護研修（内部）	5
	21	甲山福祉センター施設見学	1 支援員
	28	自閉症コンサルテーション（内部）	4
7月	5	自閉症中級講座③	1 支援員
	27	防災研修	1 事務員
8月	2	アールブリュット施設見学報告会（内部）	10
	31	社会福祉法人福成会事業所実践発表会	2 施設長・支援員
9月	5	自閉症基礎研修①	1 支援員
	18	こころの病気について	1 支援員
	25	社会福祉法人会計実務研修（税務編）	1 施設長
10月	11	自閉症基礎研修②構造化のアイデア	1 支援員
	19	福祉情勢（内部）	5
	24	自立のための生活講座 災害時どうすればいいの？	1 支援員
11月	8	自閉症基礎研修③コミュニケーション	1 支援員
11月	17	高機能自閉症の自己理解支援	1 支援員
12月	6	西宮市権利擁護セミナー	1 支援員
12月	7	市民福祉大学 事務職員講座	1 施設長
	10	自閉症コンサルテーション（内部）	4
	13	職業倫理と権利擁護研修	1 支援員
12月	18	人事労務管理研修（人事編）	1 施設長
12月	25	社会福祉法人人事・労務管理研修	1 施設長
1月	8	意思決定（内部）	6
	21・25・31	権利擁護（内部）	14
	31	発達障害とトラウマ	1 支援員

4 年間行事

月	行事内容	人数
4	花見	46
5	定期健康診断 昼食会	46・4

		7
6	日帰り旅行	39
7	七夕作品展	50
8	1 松夏祭り⇒台風のため中止 44人参加予定	
9	スポーツ大会	32
10	武庫川園祭り（西宮市民祭り）	45
11	日帰りグループ旅行（尼崎ミーツザ福祉祭り）	46
12	クリスマス会	44
1	新年会	48
2	個人懇談・節分 西宮市作品展	47
3	ひな祭り・クラブ活動発表会	46

毎月 誕生会

5 月別生産活動収入

4月	184,305
5月	151,205
6月	170,182
7月	183,909
8月	145,369
9月	208,031
10月	198,752
11月	228,684
12月	165,389
1月	140,247
2月	187,421
3月	175,888
計	2,139,382

かがやきステーション

1 平成30年度事業総括

平成30年度は、それまでの兼務1人体制ではなく、兼務ではあるが、職員3人の体制で取り組むことができた。兼務職員1人ではできなかった役割分担を行い、チームとしてきめ細かな相談をすることができた。他の相談支援事業を利用されている法人内利用者様からも、基本相談が持ち込まれ、対応できるかどうか検討の上、対応させていただいたこともあり、法人内利用者様の安心につながった。

西宮市自立支援協議会相談支援部会への毎月の参加・医療的ケア児支援・コーディネーター研修の参加で支援の質を上げ、適応できる加算取得に結びつけた。10月には、行政の実施指導も受け、運営規定等の整備ができ、相談支援の体制整備が整ってきた。

また、法人内通所の利用者の期間ごとの「サービス等利用計画支援」「サービス継続支援」を、法人内職員と地域の事業所・ご家族との連携でご本人の願いを計画に反映できるように実施した。御家族の病気で通所利用の困難な方や、地域で在宅生活が長かった方の通所利用へのつなぎなど、地域でのコーディネートも行ってきた。入所の利用者の方は、ご本人が施設内で行っていきたいことと外部に出て行きたいことをしっかり聞き取り、法人内職員と連携を取り、実費利用も含めて外出などのニーズにこたえることができてきている。

(計画相談支援契約76名 一般相談4件)

2 職員配置

管理者(兼務)	(事務員)	相談支援員(兼務)		
1	(1)	2		

31年3月31日現在

3 外部・内部研修

実施日		研修名	参加人数
11月28日	1日目	医療的ケア児等支援者養成研修	1
12月20日	2日目		
1月18日		相談支援フォローアップ圏域研修	
1月29日	1日目	相談面接技術 中級	1
2月12日	2日目		
1月31日	1日目	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	
2月18日	2日目		
2月10日		阪神南圏域多職種連携フォーラム	1
3月19日		相談支援をつなぐ研修	1

こころ&つばさ

1 平成30年度事業総括

現在男性4名女性2名のご利用者が生活されている。
それぞれの方が相談支援員の方と生活相談されながら、日中の活動場所を新規に見学に行かれたり、ご自分に合ったサービスを探しながら事業所を変更される方もおられた。

65歳になるご利用者の今後の生活や、一人暮らしのご意向がある方について、関係機関と相談支援員とカトレアの職員で担当者会議を持ち、その方の支援の方向性を共有できた。

また宝塚市社会福祉協議会主催の事例発表会でご利用者が生活の様子を発表する場があった。カトレアの園からもご利用者が参加した。地域で暮らすことで、いきいきとされている様子はカトレアの園のご利用者への刺激にもなっている。

支援員の確保は年間通じての課題であったがパートスタッフからの紹介で2名のスタッフを確保できた。

2 職員配置

管理者	サービス管理 責任者	支援員 非常勤
1名	1名	13名

2019年3月31日現在

3 年間行事

月	日	行事内容	参加人数
7月	9日	避難訓練	9名
1月	11日	宝塚市社会福祉協議会事例発表会	2名
2月	22日	避難訓練	9名